

河 川 別 集 計 表

河川名:大石沢川(一級河川)

番号	施設名	施設番号	延長(m)	ゲート数(基)	備　考
1	白木上堰	343-75	90	1	
2	白木堰	343-74	56	2	
3	唐沢堰	343-73	316	1	
4	町田堰	343-38	1,706	3	
計	4		2,168	7	

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
白木上堰 (343-75)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超 えている かを判 断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート三面張 450×300×300		38	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		1-1	水路工		鋼製円形引上式ゲート φ 250			別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
		1-2	水路工		BF-250型		52	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①			
				計				L=90m								
						ゲート数 1基										

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

- ①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設
 ②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設
 ③消耗又は劣化が想定できない施設
 ④造成、更新等の実施後、間もない施設
 —機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
白木堰 (343-74)		着工	完成	ha							〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工	現場打コンクリート三面張 450×300×300	41	別紙のとおり				評価不可	無	理由: ③				
		1-1	水路工	鋼製円形巻上式ゲート φ300		別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
		1-1	水路工	ヒューム管 φ300型	15	別紙のとおり				S-3	無	理由: ①				
		1-2	水路工	鋼製円形引上式ゲート φ300		別紙のとおり				S-4	無	理由: ①				
				計		L=56m										
				ゲート数 2基												

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式 1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市				記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年			
				施設管理者	東御市											
施設名		造成工期		受益面積	造成事業		機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策					
唐沢堰 (343-73)		着工	完成	ha							〔対策期間：令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
							延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位：千円]	監視計画	
施設 全体 の 概 要						(m)		耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り等 により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計画) の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を選 択)			日常監視の頻度、及び対策見直しの ための監視頻度を記入		
施設 現 況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		現場打コンクリート三面張 350×250×250		43	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①			
		1-1	水路工		鋼製円形巻上式ゲート φ 300			別紙のとおり			S-4	無	理由： ①			
		1-2	水路工		BF-200・250型		221	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①			
		1-3	水路工		VS-300×750型		52	別紙のとおり			S-4	無	理由： ①			
				計				L=316m								
								ゲート数 1基								

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市		記入者	長土連東信事業所		作成日	令和5年						
施設名		造成工期		受益面積	造成事業			機能診断調査		機能診断評価 (目視による)		機能保全対策 〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕					
町田堰 (343-38)		着工	完成	ha				延長	現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期	対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画	
施設 全体 の 概要						(m)				耐用年 数を超え ているか を判断	現地調査者か らの聞き取り 等により推測	別票、写 真からマ ニュアル の区分に より判定	機能保全対策(計 画)の必要性の有 無を記入 ※「無」の場合は理 由を選択(「有」の 場合は、「－」を 選択)			日常監視の頻度、及び対策見直し のための監視頻度を記入	
施設 現況	区 間 ご と の 現 況	1	水路工		練石積二面+底張コンクリート 1100～600×500		65	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-1	水路工		U-300B・360B型		233	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-2	水路工		鋼製角形巻上式ゲート 300×300			別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-2	水路工		埋設位置不明・構造不明		54	別紙のとおり			評価不可	無	理由: ③				
		1-4	水路工		BF-400型		31	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-5	水路工		VS-300×400型		39	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-6	水路工		現場打コンクリート三面張 450×600		13	別紙のとおり			評価不可	無	理由: ③				
		1-7	水路工		U-450型		31	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-8	水路工		空石積二面+底張コンクリート無し 800～500×800		27	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①				
		1-9	水路工		VS-300×600型		89	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-10	水路工		BF-500型		77	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
		1-11	水路工		空石積二面+底張コンクリート無し 800～500×600		27	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①				
		1-12	水路工		VS-300×600型		61	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①				
1-13	水路工		BF-400型		502	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①						

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

ー機能保全計画の対象

個別施設毎の長寿命化計画

様式1

市町村名		東御市		施設所有者	東御市		記入者	長土連東信事業所			作成日	令和5年		機能保全対策							
				施設管理者	東御市																
施設名		造成工期		受益面積	造成事業	機能診断調査		機能診断評価 (目視による)			機能保全対策 〔対策期間:令和8年度～令和17年度(10年間)〕										
町田堰 (343-38)		着工	完成	ha		延長		現地調査	老朽化 度	劣化要因	健全度 評価	機能保全対策(計画) の必要性の有無	対策工法 及び 対策時期					対策費用 (概算) [単位:千円]	監視計画		
		機能保全対策(計画)の必要性の有無を記入 ※「無」の場合は理由を選択(「有」の場合は、「－」を選択)																			
施設全体の概要						(m)		耐用年数を超えているかを判断	現地調査者からの聞き取り等により推測	別票、写真からマニュアルの区分により判定				日常監視の頻度、及び対策見直しのための監視頻度を記入							
施設現況	区間ごとの現況	1-13	水路工		鋼製角形引上式ゲート 700×350		別紙のとおり			S-3	無	理由: ①									
		2-1-1	水路工		BF-500型	36	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①									
		3-1	水路工		鋼製角形引上式ゲート 500×300		別紙のとおり			S-3	無	理由: ①									
		3-1-1	水路工		BF-250型	119	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①									
		2-1-1	水路工		埋設位置不明・構造不明	14	別紙のとおり			評価不可	無	理由: ③									
		2-1-2	水路工		現場打コンクリート三面張 500×400	18	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①									
		2-1-3	水路工		現場打コンクリート三面張水路橋 400×300	51	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①									
		2-1-4	水路工		現場打コンクリート二面張＋空石積 650～600×300	20	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①									
		2-1-5	水路工		U-300B型	55	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①									
		2-1-6	水路工		現場打コンクリート二面張＋空石積 650～600×500	97	別紙のとおり			S-4	無	理由: ①									
		2-1-7	水路工		現場打コンクリート三面張 400×500	47	別紙のとおり			S-3	無	理由: ①									
			計				L=1,706m														
							ゲート数 3基														

管理者の判断により機能保全計画の対象としない理由

①重大な事故につながる可能性が極めて小さい施設

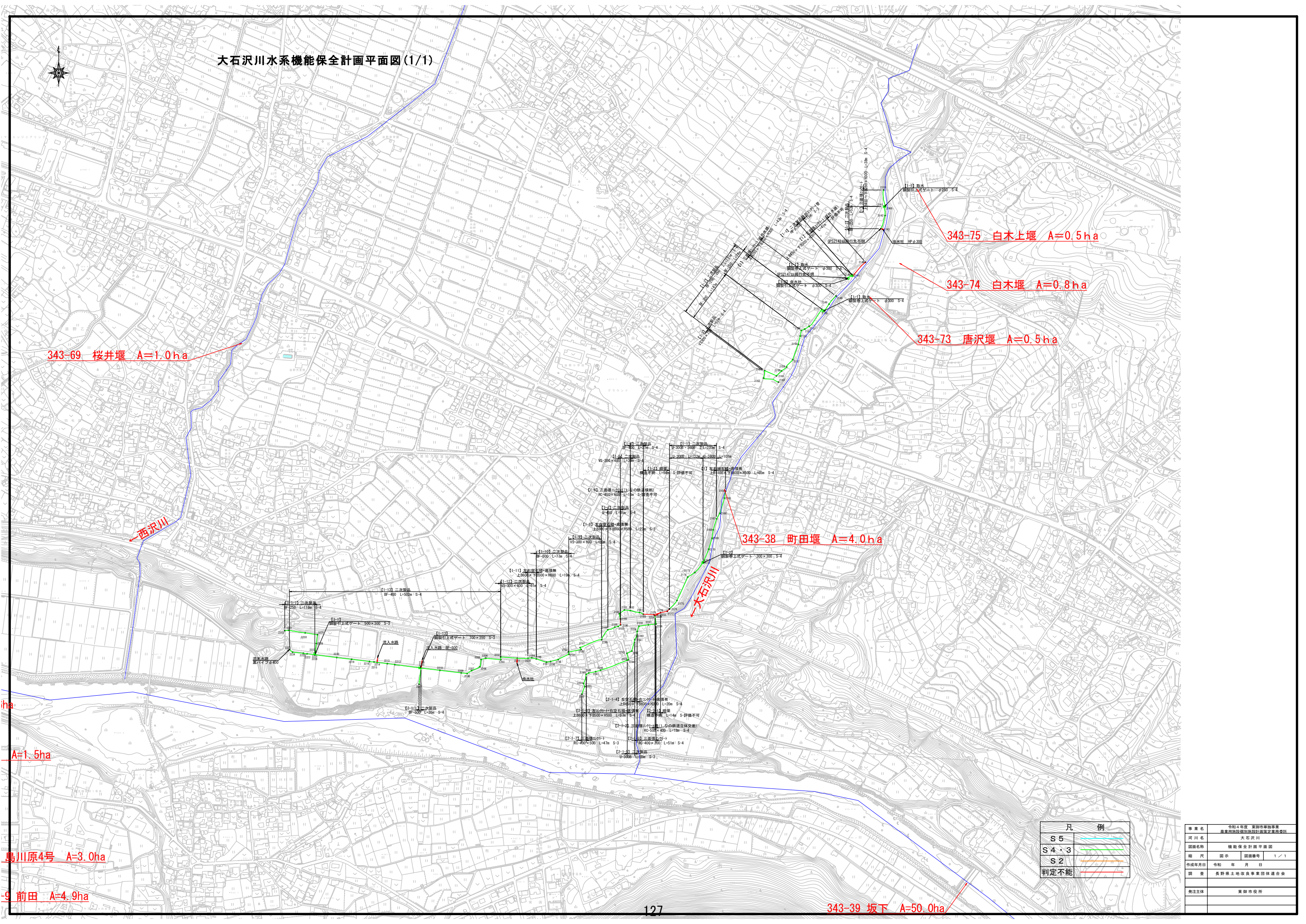
②施設の規模、受益面積等が一定程度以下の施設であって、予防保全を実施することが経済的に不利となる可能性が高い施設

③消耗又は劣化が想定できない施設

④造成、更新等の実施後、間もない施設

－機能保全計画の対象

大石沢川水系機能保全計画平面図(1/1)



凡 例	
S5	
S4・3	
S2	
判定不能	

事業名	令和4年度 長野市農林畜産 農業用施設等施設設計業務委託		
河川名	大石沢川		
図面名称	機能保全計画平面図		
縮尺	図示	図面番号	1/1
作成年月日	令和 年 月 日		
調査	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	長野市役所		